



DDS製剤臨床応用FG

<活動目的>

わが国におけるDDS製剤の基礎研究は非常に盛んですが、医薬品として上市されている品目が欧米に比べ少ないのが現状です。このような状況を改善するために、基礎研究成果をもとにヒトへの臨床応用を実現するための橋渡し研究の推進は欠かせません。特に薬学分野に身を置く研究者にとり、製剤設計、製剤開発、さらには品質管理という一連の流れの中で、高機能を有するDDS製剤の有効性、安全性に影響する品質特性を明らかにしていくことは、非常に重要な研究領域であると考えます。

主な活動内容

- DDS製剤の品質、有効性、安全性の評価、あるいは評価手法に関する調査研究、情報交換
- DDS製剤研究が臨床応用へ結実するための課題調査（基礎研究からそれ以降の開発段階への橋渡しに関わる課題、創薬技術に関わる課題）
- 国内外におけるDDS製剤の医薬品規制環境に関わる調査、情報交換

活動概要（2020～）

(1) 日本薬剤学会におけるラウンドテーブルセッションの開催

- ◆ 第35年会ラウンドテーブル 2020年5月（紙上開催）
「エクソソームを利用したDDS開発の現状、課題と将来展望について考える」
- ◆ 第36年会ラウンドテーブル 2021年5月（オンライン開催）
「エクソソームによる核酸医薬DDSを目指して。研究・開発の進展と将来展望」

(2) 関連学会におけるシンポジウムの開催

- ◆ 日本薬学会第140年会シンポジウム 2020年3月（Web開催）
「エクソソーム研究が拓くDDSの最前線」
- ◆ 日本薬学会第141年会シンポジウム 2021年3月（オンライン開催）
「エクソソームで挑む新たなDDSの創製」
- ◆ 日本薬学会第142年会シンポジウム 2022年3月（オンライン開催）
「ナノDDS技術が拓く新たながん免疫療法」

(3) 合宿討論会の開催

毎年、秋に開催（帝京大学セミナーハウス（箱根））

← 新型コロナウイルスの影響で2020, 2021は未開催（2022は開催予定）

今後の活動スケジュール

(1) 日本薬剤学会年会におけるラウンドテーブルセッションの開催

- ◆ 第37年会 ラウンドテーブル 2022年5月（オンライン開催）
「国産の革新的ワクチン開発における課題と展望」

(2) 関連学会におけるシンポジウムの開催

- ◆ 日本薬学会第143年会 2023年3月 札幌
企画・応募予定

(3) 合宿討論会の開催

- ◆ 第10回DDS製剤臨床応用FG合宿討論会 2022年秋
帝京大学セミナーハウス(箱根)（予定）

(4) 「薬剤学」への掲載

- ◆ FG合宿討論会レポート、ラウンドテーブルレポート など

本分野での著名な先生を講師としてお招きし、DDS製剤の最先端の情報交換をしていきます。DDS製剤臨床応用に対する期待はますます高まっています。研究者間のコミュニケーションを活性化し、研究成果が結実するための課題解決に向けた取り組みに努めます。